

vivola

代表取締役CEO
角田夕香里





Agenda

1. 当初の事業計画
2. 事業計画に基づき実施したこと
3. 事業を実施して分かってきたことや課題
4. 今後実施すること

当初の事業計画

啓発コンテンツ

患者向け治療アプリ
cocoromi



企業向け啓発動画
プレニンカツ



診療システム

遠隔診療システム
cocoromi online



1. 啓発コンテンツの制作・導入

2. 遠隔医療スキームの確立

不妊治療と仕事との両立には職場と通院環境の両側面からのサポートが必要

本プロジェクトメンバー

vivola

doctor



齊藤英和先生
生殖医療専門医



前田恵理先生
妊活/不妊の母子保健の研究者



NPOフォレシア



佐藤高輝代表
不妊治療と仕事の両立支援

ライフサカス



西部沙緒里
「UMU」メディア運営

実証実験の場の提供

生殖医療
クリニック

自治体
2か所決定

ウエルネス
コミュニケーションズ
株式会社

東京海上
ホールディングス

←新規参画

※啓発コンテンツと遠隔診療スキームの両プロジェクトメンバーを記載

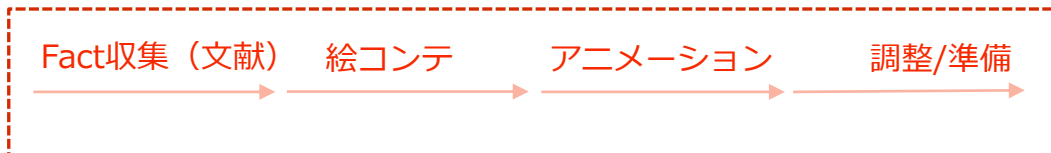
事業計画に基づき実施したこと

予定通り

1. 啓発コンテンツの制作・導入



実施内容



制作コンテンツ

若年層向けプレコンセプションケア編

人事・管理職向けリテラシー編



※協力団体：東京海上ホールディングスが追加で参画

※セミナー実施団体

12/10 資生堂 実施

12/17 WCC 企業合同セミナー（20社前後の想定）

日程調整中：東京海上ホールディングス、その他大手2-3社
広島県、今治市、徳島市

実施をして見えてきた課題

1. 啓発コンテンツの制作・導入

- コンテンツ制作については特になし
- 導入にあたっては会社の規模、地域性によって異なるケース

対策：

- 大企業向け/中小企業向け（自治体連携）で分けてアレンジする
- 動画＋有識者＋アンケート構成の中で、有識者の選定を実施交渉プロセスに追加

2. 遠隔医療スキームの確立

- 複数のステークホルダーを巻き込むのが難しい
- 病病連携のシステムはセキュリティの観点から電子カルテとの連携はハードルが高い

対策：

- アドバイザリーボードを設置し、地域性を考慮して、専門医の先生から婦人科医を選定いただく
- 診療システムはより独自NWを構築した端末を用意し、簡易的に導入可能なシステムへ

今後実施すること

1. 啓発コンテンツの制作・導入

- コンテンツの制作完了（11月末）
- 実証実験の実施（12-2月末）

※数を増やさず、各企業/地域特性を理解し、
来年の正式ローンチに向けて検証を行う

2. 遠隔医療スキームの確立

- PoCシステムの開発完了（11月末）
- 実証実験の実施（12-2月末）
- 引き続きPoC実施場所の交渉

実証実験の場としてご参加いただける**自治体様、企業様、医療機関様**を募集しております。
お気軽に以下までお問合せください。

お問い合わせ先：contact@vivola.jp